

炭化水素の測定結果(平成18年度)

炭化水素の中でも、特に非メタン炭化水素は光化学オキシダントの生成に深い関係があり、その多くは石油・石油化学製品を取り扱う工場・事業場や自動車から排出されます。

平成18年度に、岐阜南部測定局で測定した結果は、下表のとおりで、非メタン炭化水素の午前6時から9時までの3時間測定値の年平均値は0.19ppmCです。

これを、指針値と照らしてみると0.20ppmCを超えた日は113日(32.4%)、0.31ppmCを超えた日は13日(5.2%)です。

平成17年度炭化水素測定結果

測定局名	測定項目	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時3時間平均値			6～9時3時間平均値が 0.20ppmCを超えた日数とその割合		6～9時3時間平均値が 0.31ppmCを超えた日数とその割合		平成16年度	
					年平均値 (ppmC)	最高値 (ppmC)	最低値 (ppmC)	日	%	日	%	年平均値 (ppmC)	6～9時 3時間平均値の年平均値 (ppmC)
岐阜南部	非メタン	7973	0.18	349	0.19	0.57	0.04	113	32.4	18	5.2	0.19	0.20
	メタン	8004	1.76	349	1.77	2.04	1.65	/	/	/	/	1.76	1.77
	全炭化水素	7973	1.94	349	1.96	2.40	1.76	/	/	/	/	1.95	1.97

備考)

1 岐阜市調べ

2 午前6時から9時までの3時間の測定値の平均値を示す。

3 指針値:光化学オキシダントの環境基準である1時間値 0.06ppm に対する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから 0.31ppmCの範囲にある。

○過去10年間の経年変化

炭化水素の6～9時3時間平均値の経年変化

